



ビジョンの達成へ 思いと決意を共有

ACKグループが 13期創立記念行事

ACKグループは、「第13期ACKグループ創立記念行事」を28日に開いた。東京都渋谷区の本社会場に加え、テレビ会議やインターネットライブ中継で接続した全国20カ所を超える拠点などから1000人以上の役員が参加。同社グループの2020年のビジョン達成に向けて、中期経営計画ACKG2013の進捗状況を確認するとともに、

国内外における事業戦略を共有することで、さらなる発展に向けた決意を新たに示した。

今回は、「総合事業、研究開発への取組みに向けて」をテーマとしたパネルディスカッションを行い、グループ各社の事業戦略や今後の展開などについて、それぞれのトップらが活発に意見を交わした。

さらに、「海外事業の安全管理」「女性ネットワーク活動の取組み」についての報告と質疑を行うことで役員間の理解を深め、活動への参画意識のさらなる高揚に努めた。

最後に、野崎秀則社長が「当社グループのビジョンと中期経営計画を達成するためには、グループ各社の役員間の思いを共有し、プランを共有し、ともに協働してPDCAサイクルを回すことが重要である」と呼び掛けて締めくくった。写真。